

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第18週（令和8年4月27日～令和8年5月3日）

〇県内で麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。

2026年1月以降、神奈川県内では麻疹患者が40例(令和8年5月7日現在)報告されています。

麻疹ウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39℃以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻疹と思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻疹の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には、ワクチン接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻疹の予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

【全数把握対象疾患】

	診断（第18週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(6)
三類感染症		
四類感染症	レジオネラ症(1)	A型肝炎(1), レジオネラ症(4)
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症(2)	アメーバ赤痢(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(3), 水痘（入院例）(1), 梅毒(4), 百日咳(6)

【定点把握対象疾患】

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	1	0	0	0	2	7	1	0	0	1	0	0
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C	0	0	0	0	1	5	0	0	0	1	0	0
	D	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0
内科	E	1	0										
	F	0	0										
	G	0	1										
	合計	2	1	0	0	8	18	1	0	0	2	0	0
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	2.00	4.50	0.25	0	0	0.50	0	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	0
	I	0	0
	合計	0	0
	定点当たり	0	0

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

疾患名	今週	先週
1 感染性胃腸炎	18	21
2 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	8	5
3 突発性発しん	2	0

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	119
	B	48
	C	133
	D	91
内科	E	59
	F	6
	G	19
	合計	475
	定点当たり	67.86

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

	疾病名	15週	16週	17週	18週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	1	0	1	0	↓
		0.25	0	0.25	0	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	5	3	5	8	↑
		1.25	0.75	1.25	2.00	
	感染性胃腸炎	21	24	21	18	↓
		5.25	6.00	5.25	4.50	
	水痘	3	2	3	1	↓
		0.75	0.50	0.75	0.25	
	手足口病	0	1	0	0	→
		0	0.25	0	0	
	伝染性紅斑	0	0	0	0	→
0		0	0	0		
突発性発しん	0	0	0	2	↑	
	0	0	0	0.50		
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	→	
	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	→	
	0.25	0	0	0		
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	2	1	1	0	↓
1.00		0.50	0.5	0		
内科 (ARI 定点)	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	2	1	1	2	↑
		0.29	0.14	0.14	0.29	
	新型コロナウイルス感染症	1	5	2	1	↓
		0.14	0.71	0.29	0.14	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	349	406	520	475	↓
49.86		58.00	74.29	67.86		

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）





